



# 「中学生の母親の、医薬品の 適正使用に関する意識・知識調査」

2014年1月

くすりの適正使用協議会

# 調査概要

## 調査目的:

平成24年度より学校教育において「くすり教育」を受講している中学生の家庭における医薬品の使用実態を明らかにすることを目的に、中学生の母親に対し、下記に関するオンライン調査を実施した。

- ① 中学生の医薬品の使用方法に対する母親の意識と家庭での使用実態
- ② 中学生の母親自身の医薬品と「くすりの適正使用」への知識

(調査手法)

インターネット調査(ネオマーケティング)

(調査期間)

2013年12月27日(金) ~ 2014年1月5日(日)

(調査対象者)

中学生の子どもがいる、30~59歳の母親 500名

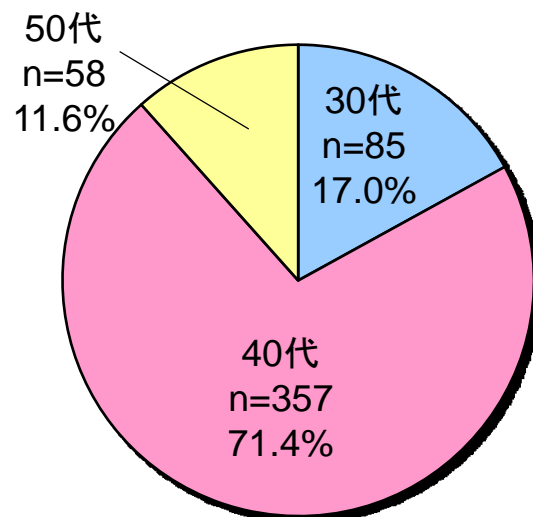
(調査対象地域)

全国

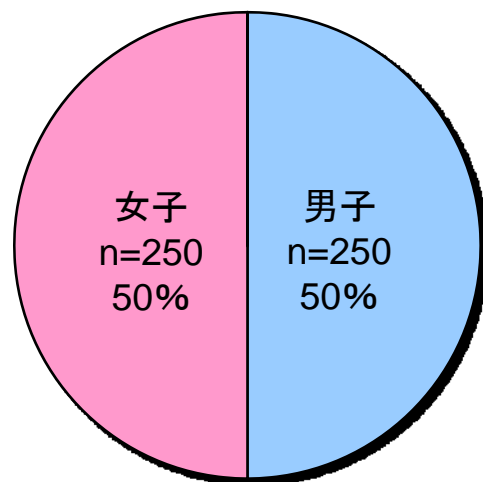
# 属性 (n=500)

※ 調査は、中学生の子どもがいる 30～59歳の母親 500名を対象に実施

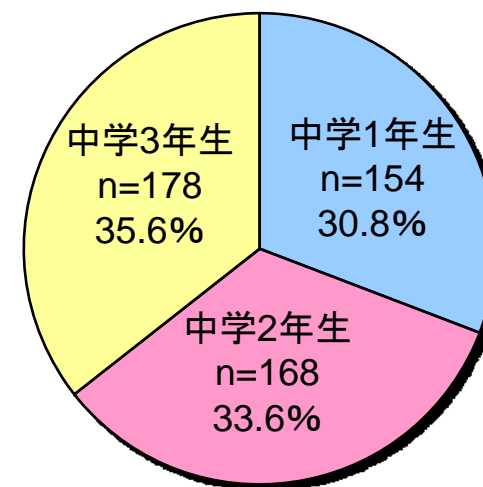
母親の年齢



子どもの性別



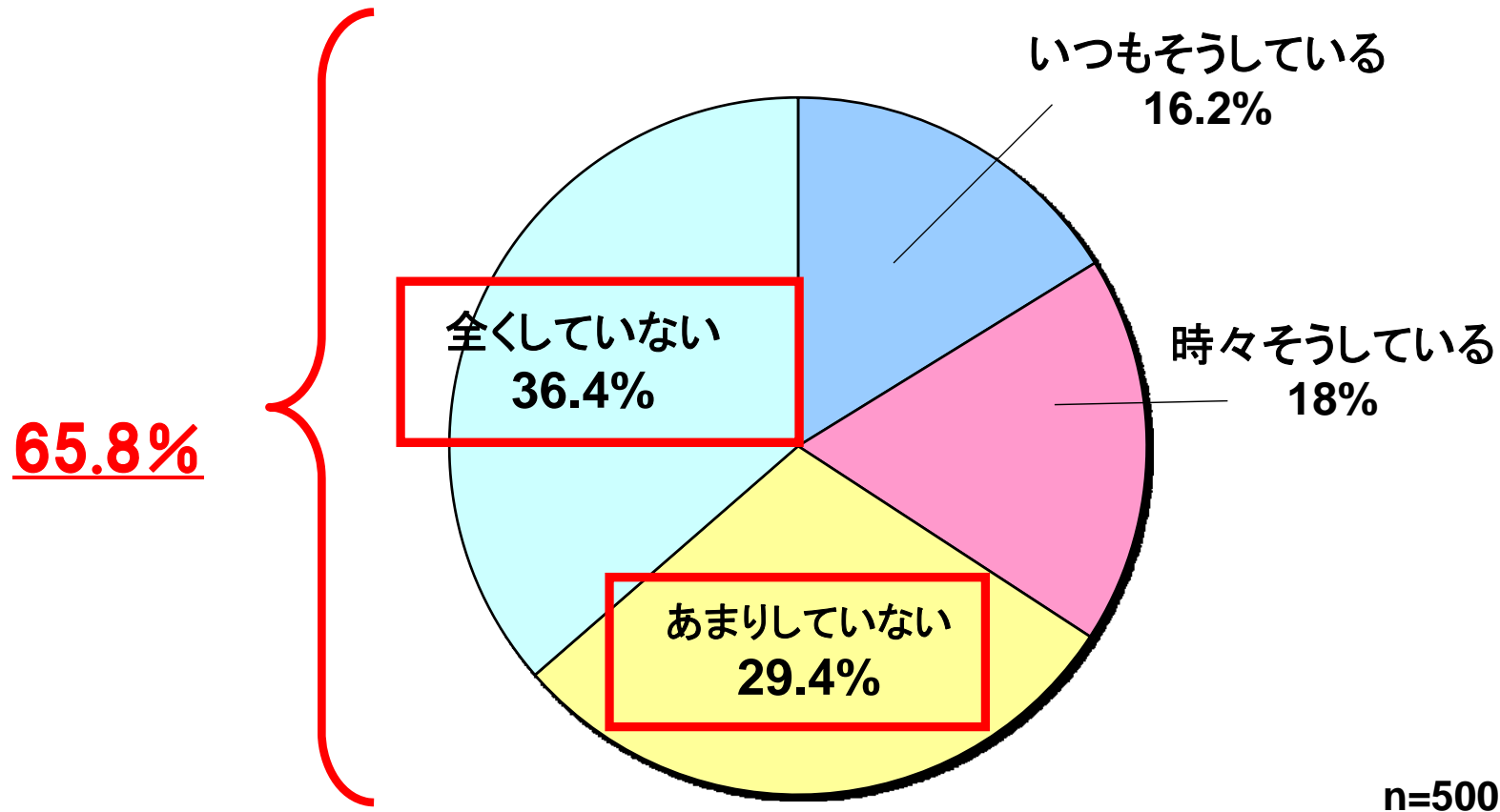
子どもの学年



# ① 中学生の医薬品の使用方法に 対する母親の意識と家庭での使用実態

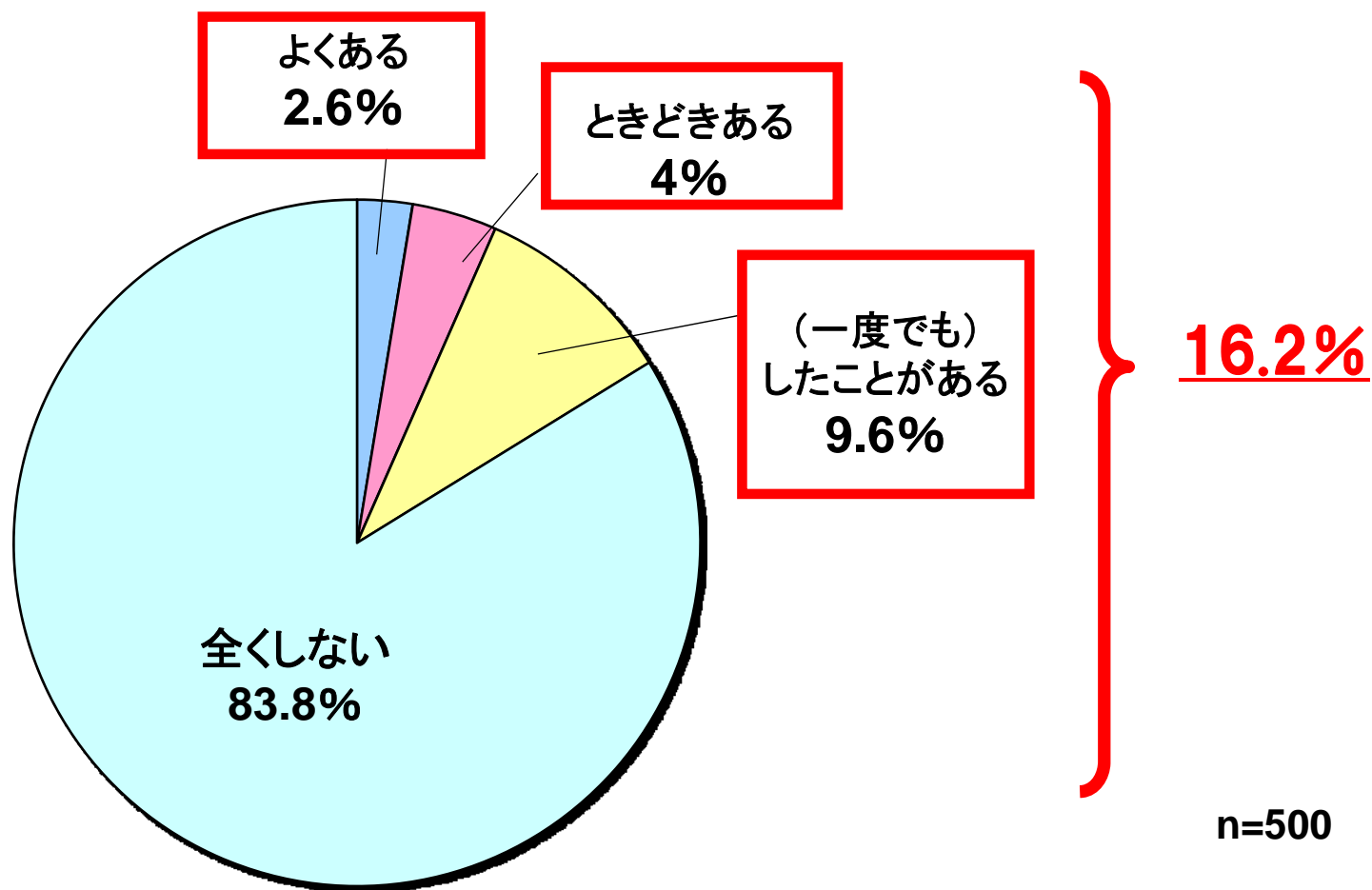
# 約7割の母親が、普段、自分の子どもが薬を使用する際に、**RAD-AR** 服用方法に関する説明書を、子ども自身に読ませしていない

Q. あなたの中学生のお子様<sup>①</sup>が薬を使用する際の、あなたとお子様とのコミュニケーションの状況について以下の内容に対して、最も当てはまるものを教えてください。  
【服用方法を記載した説明書を子どもに渡し、自分で読ませて使用させている】



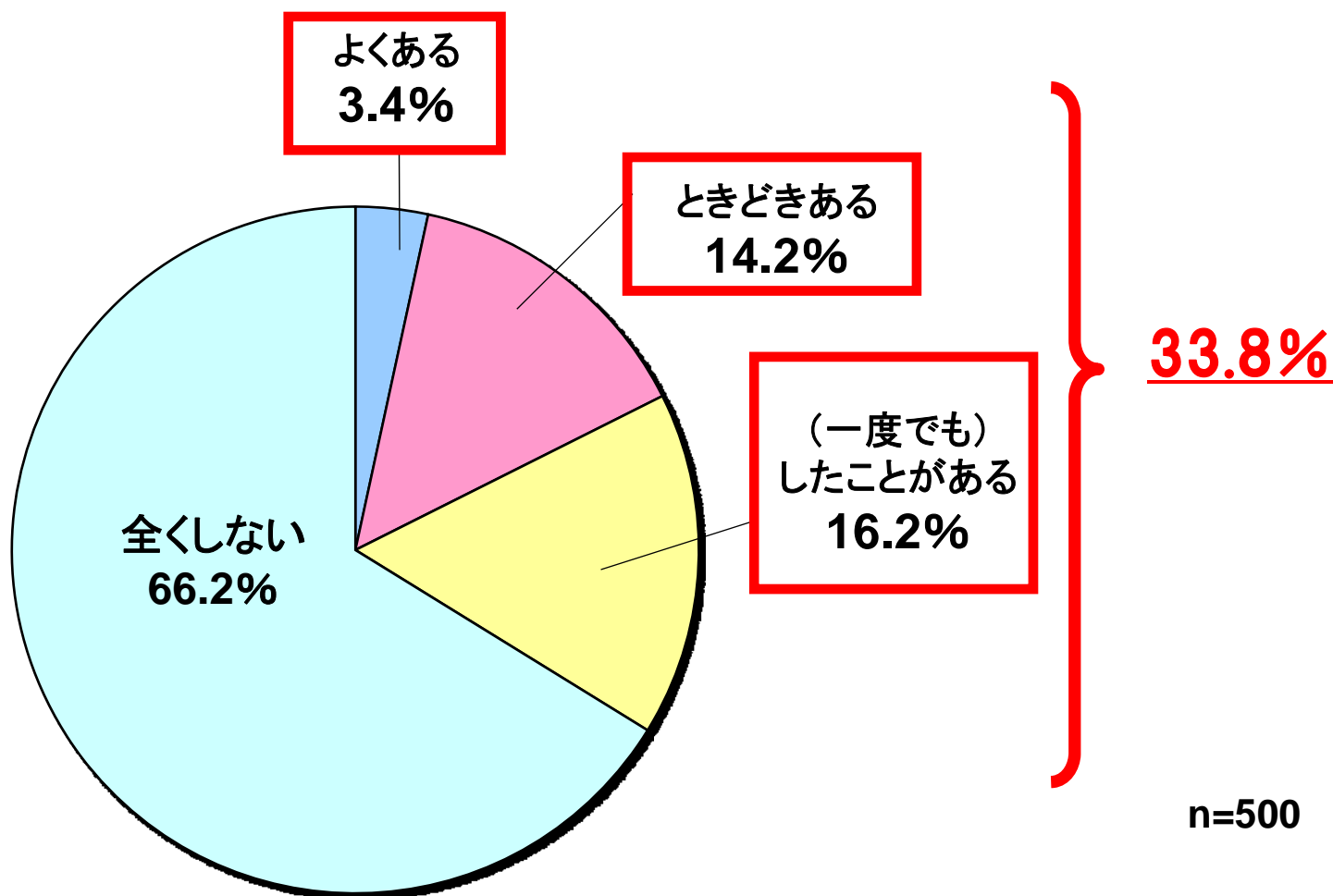
## 6人に1人の母親は、自分の子どもに対して、過去に使用期限切れの薬をのませたことがある

Q. あなたの中学生のお子様の薬の服用について、当てはまるものを1つ選んでください。  
【期限切れの薬を子供にのませたことがある】



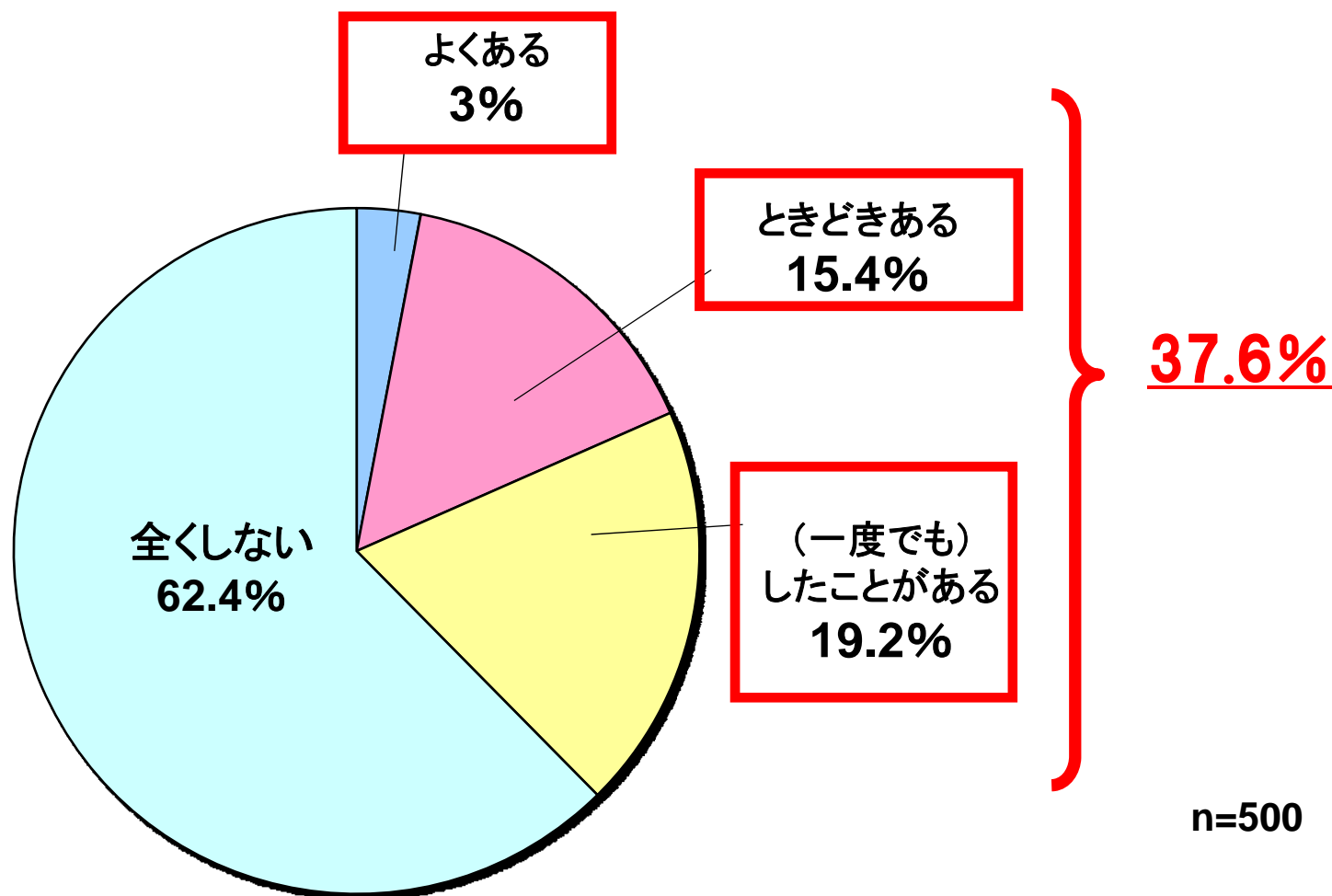
# 3人に1人の母親は、自分/父親が病院・調剤薬局でもらった薬を、自分の判断で量を加減して、子どもにのませたことがある

Q. あなたの中学生のお子様の薬の服用について、当てはまるものを1つ選んでください。  
【親が病院・調剤薬局でもらった薬を、親の判断で量を加減して子どもにのませたことがある】



## 約4割の母親が、自分の判断で、 子どもがのむ薬の量や回数を増減させたことがある

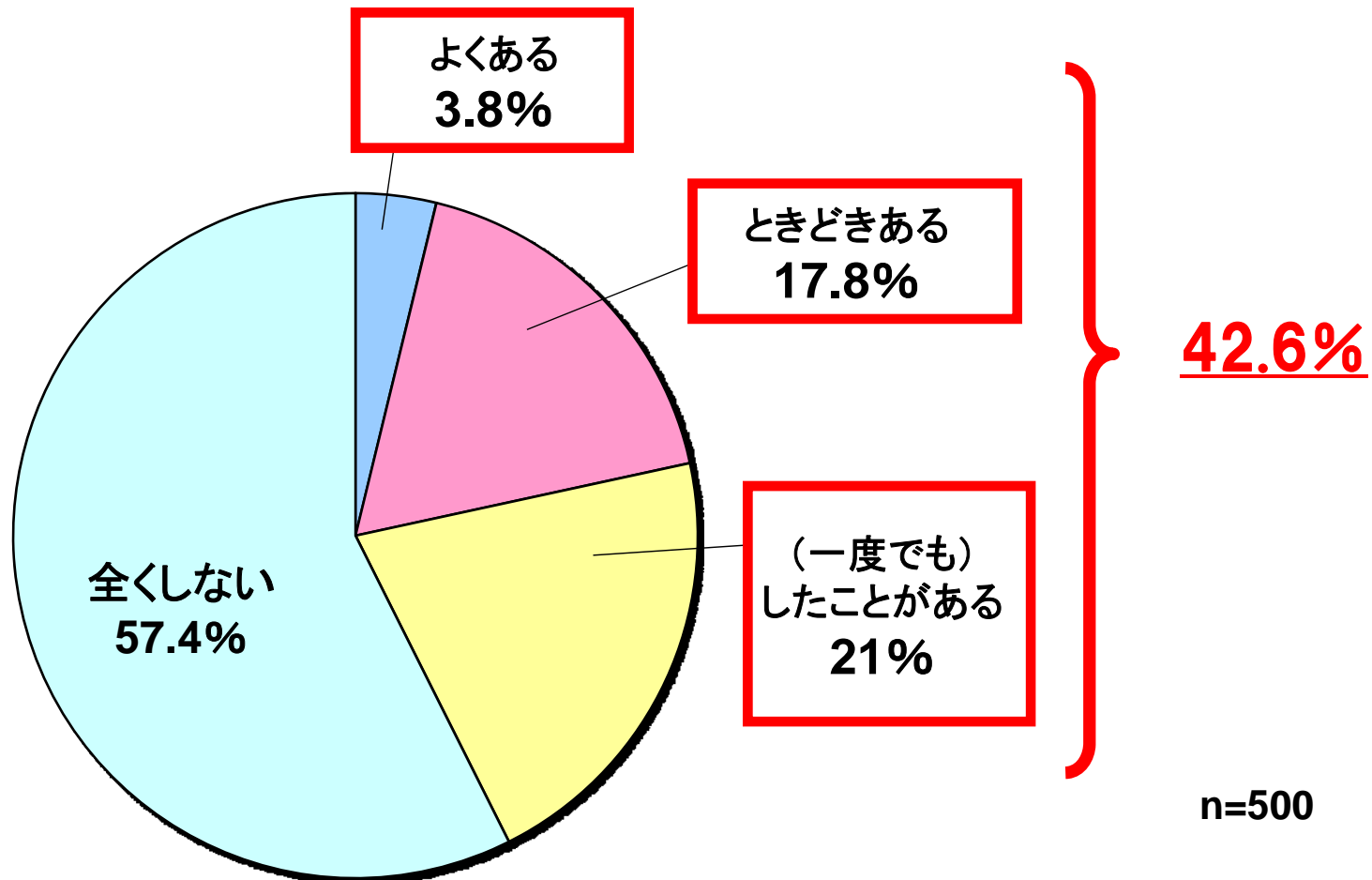
Q. あなたの中学生のお子様の薬の服用について、当てはまるものを1つ選んでください。  
【子どもがのむ薬を親の判断でのむ量や回数を、減らしたり、増やしたりしたことがある】





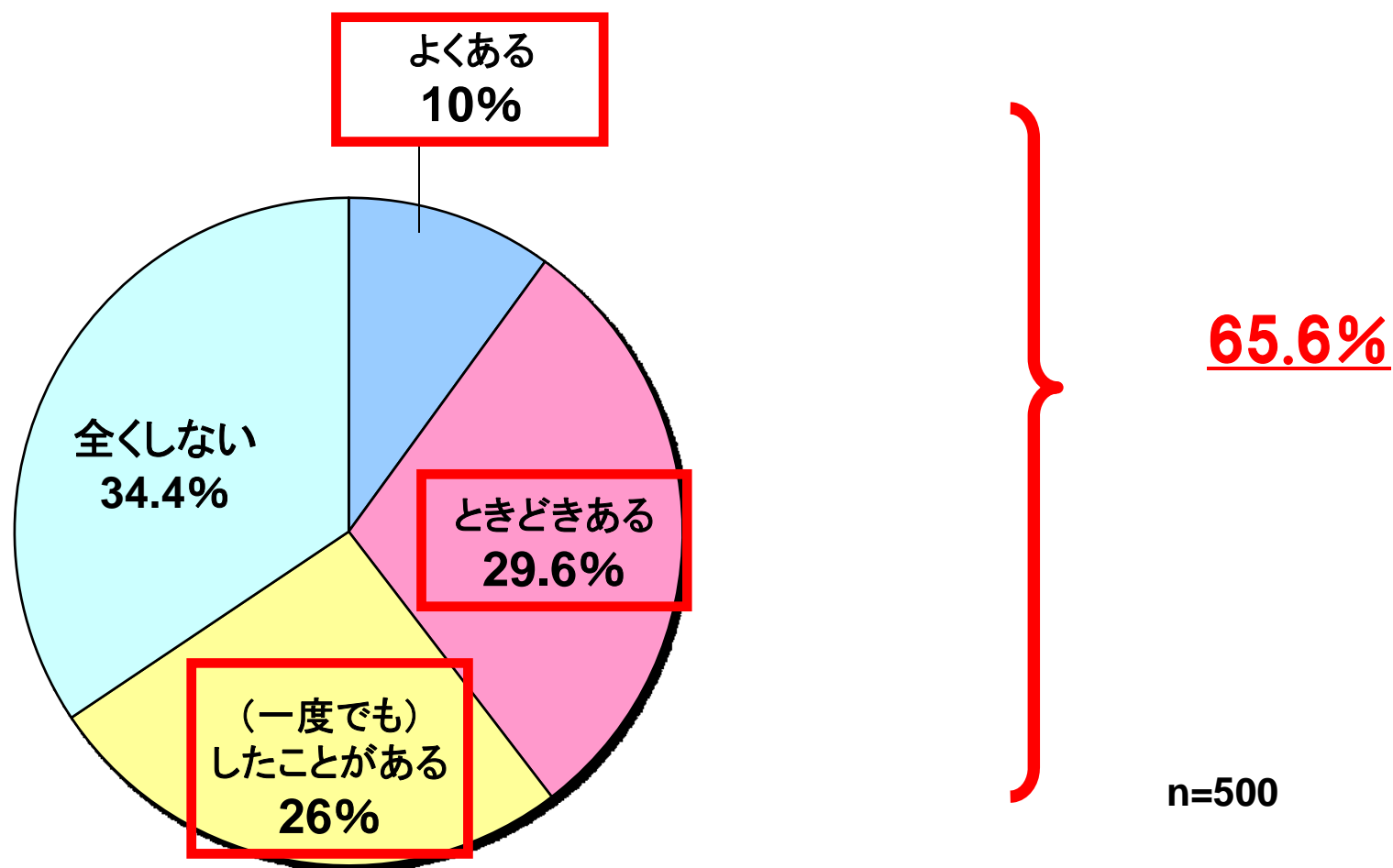
# 約4割の母親が、子どもが病院・調剤薬局でもらった薬の 使い残しを、兄弟・姉妹に同じ症状が出た時にのませたことがある

Q. あなたの中学生のお子様の薬の服用について、当てはまるものを1つ選んでください。  
【お子様が病院・調剤薬局でもらった際の薬の残りを、  
兄弟・姉妹で同じ症状が出た時に、親の判断でのませたことがある】



# 約7割の母親が、過去に、子どもが病院・調剤薬局で もらった薬の使い残しを、似た症状が出た際にのませたことがある

- Q. あなたの中学生のお子様の薬の服用について、当てはまるものを1つ選んでください。  
【以前、子どもが病院・調剤薬局でもらった薬をのみきらなかったので、  
 再び似た症状が出た時にのませたことがある】

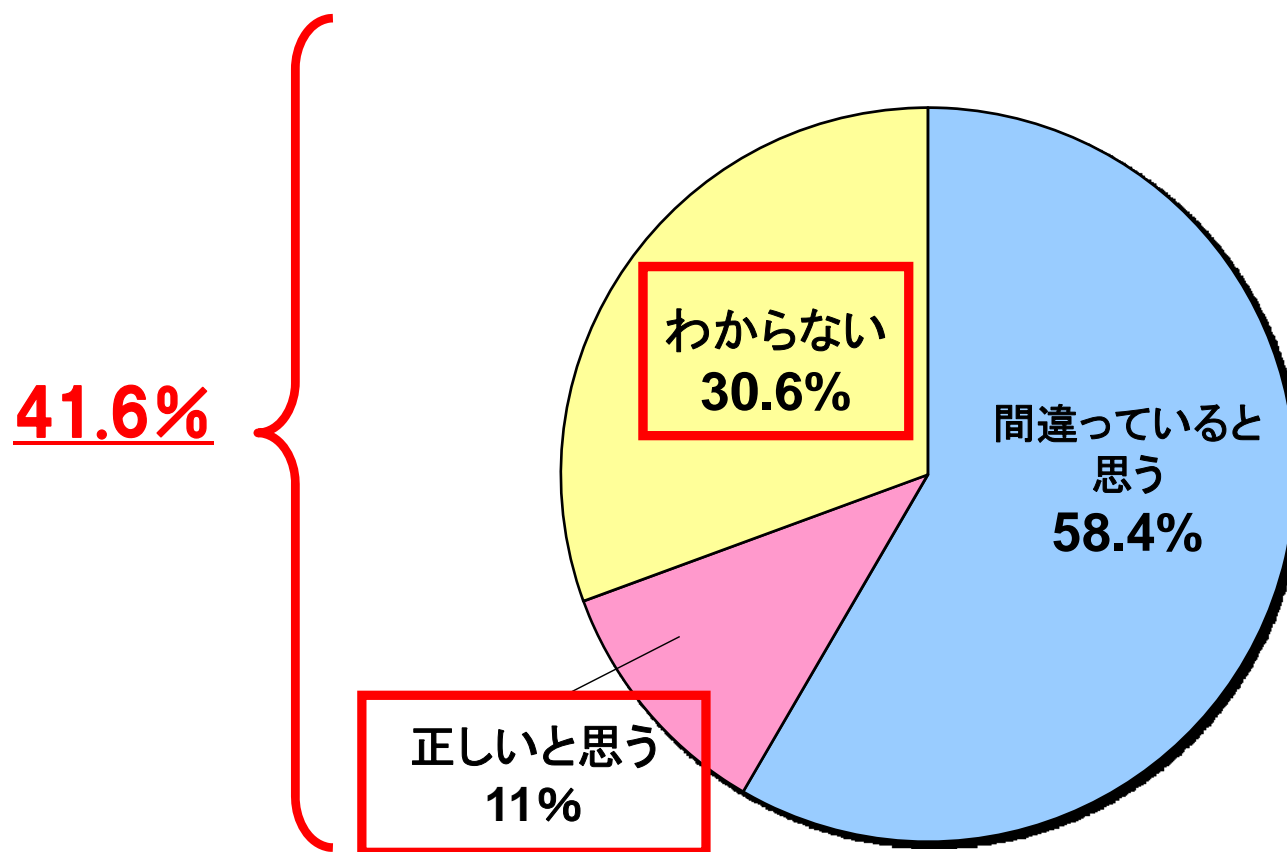


② 中学生の母親自身の、  
医薬品と「くすりの適正使用」への知識

# 約4割の母親が、健康食品やサプリメントは、 医薬品ではないということを知らない

Q. 以下の質問についてあなたのお考えに最も当てはまるものを教えてください。  
【健康食品やサプリメントは、医薬品に含まれる】

正答: ×

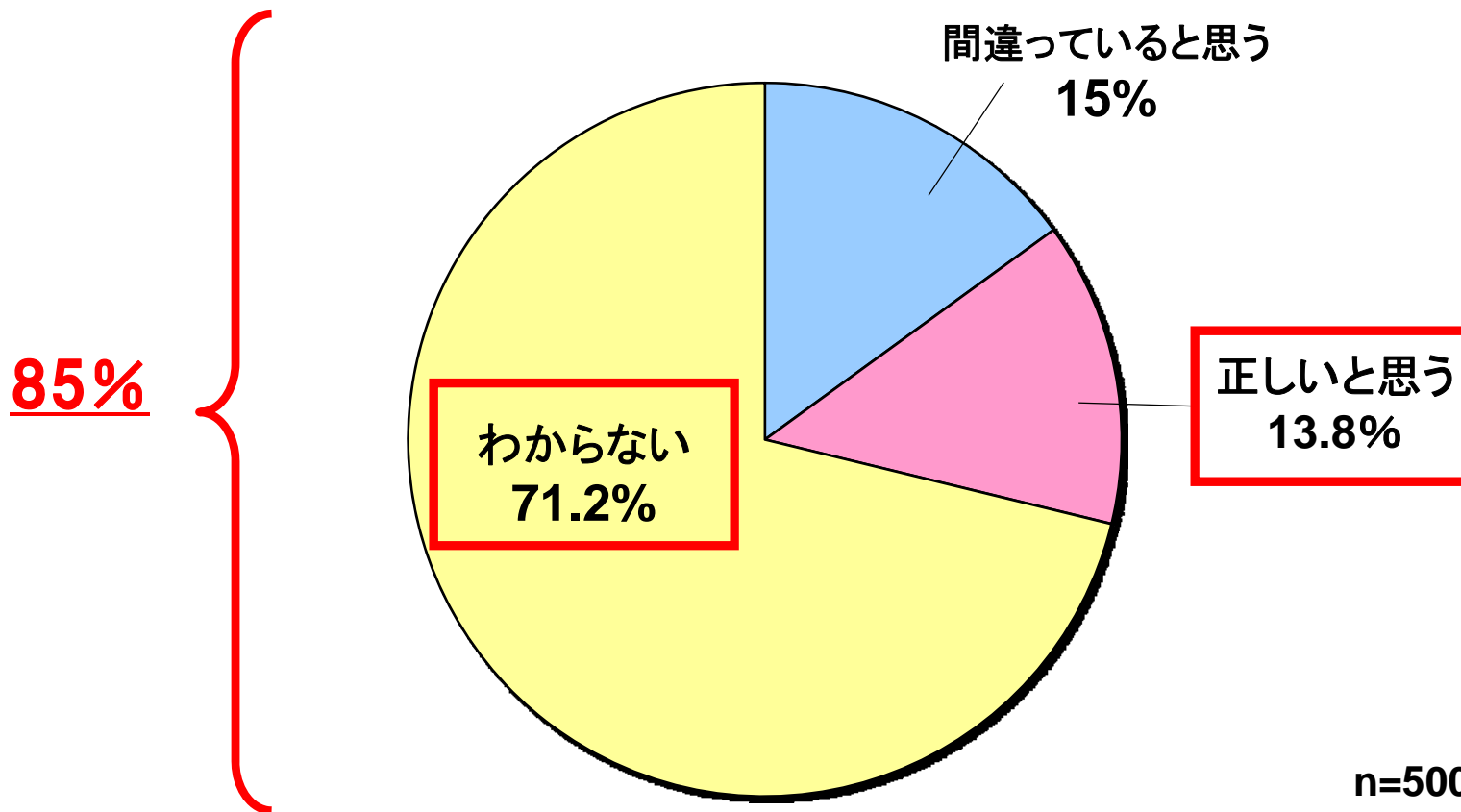


n=500

# 約9割の母親が、「ジェネリック医薬品」と「OTC医薬品」は異なる医薬品を指す言葉であることを知らない

Q. 以下の質問についてあなたのお考えに最も当てはまるものを教えてください。  
【「ジェネリック医薬品」と「OTC医薬品」は同じである】

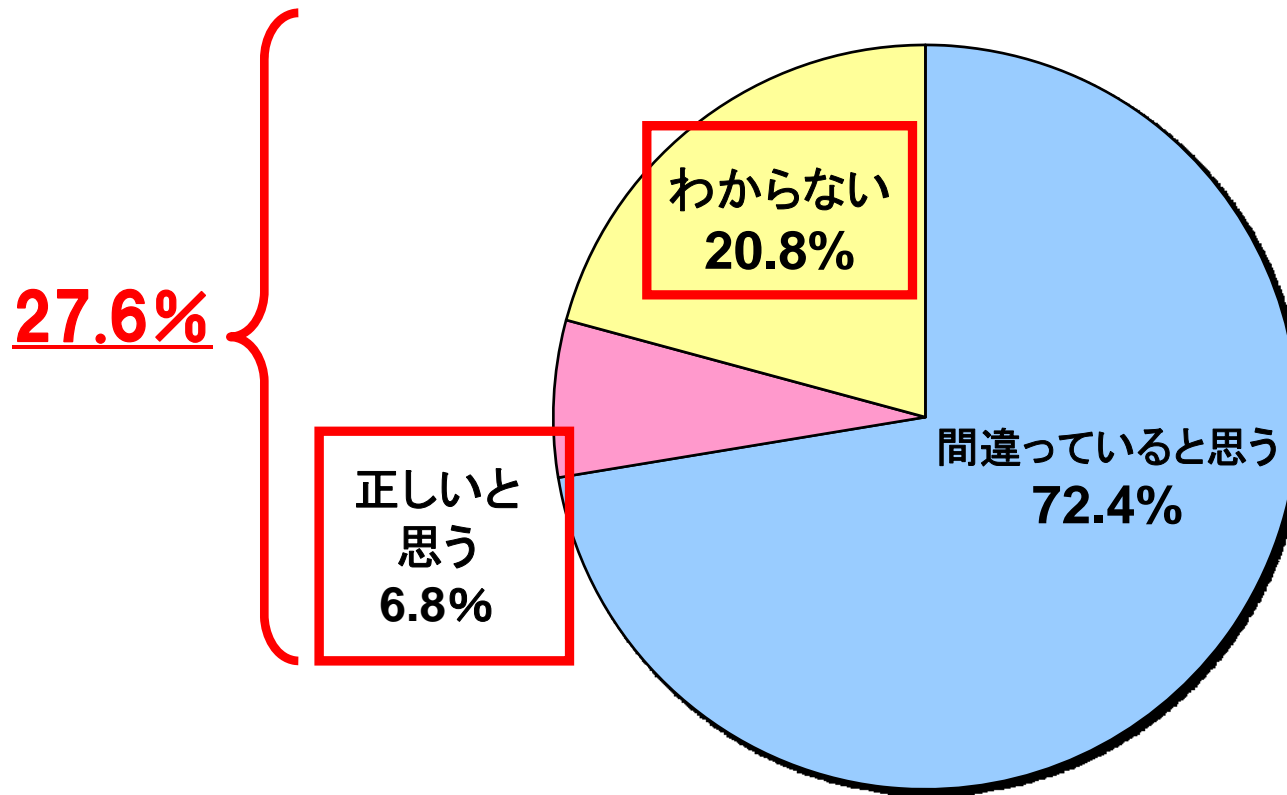
正答: ×



# 3人に1人の母親が、病院・調剤薬局でもらった薬は、 症状が良くなっても、自己判断で止めてはいけないことを知らない

Q. 以下の質問についてあなたのお考えに最も当てはまるものを教えてください。  
【病院・調剤薬局でもらった薬は、症状が良くなったら自分の判断で止めて良い】

正答：×

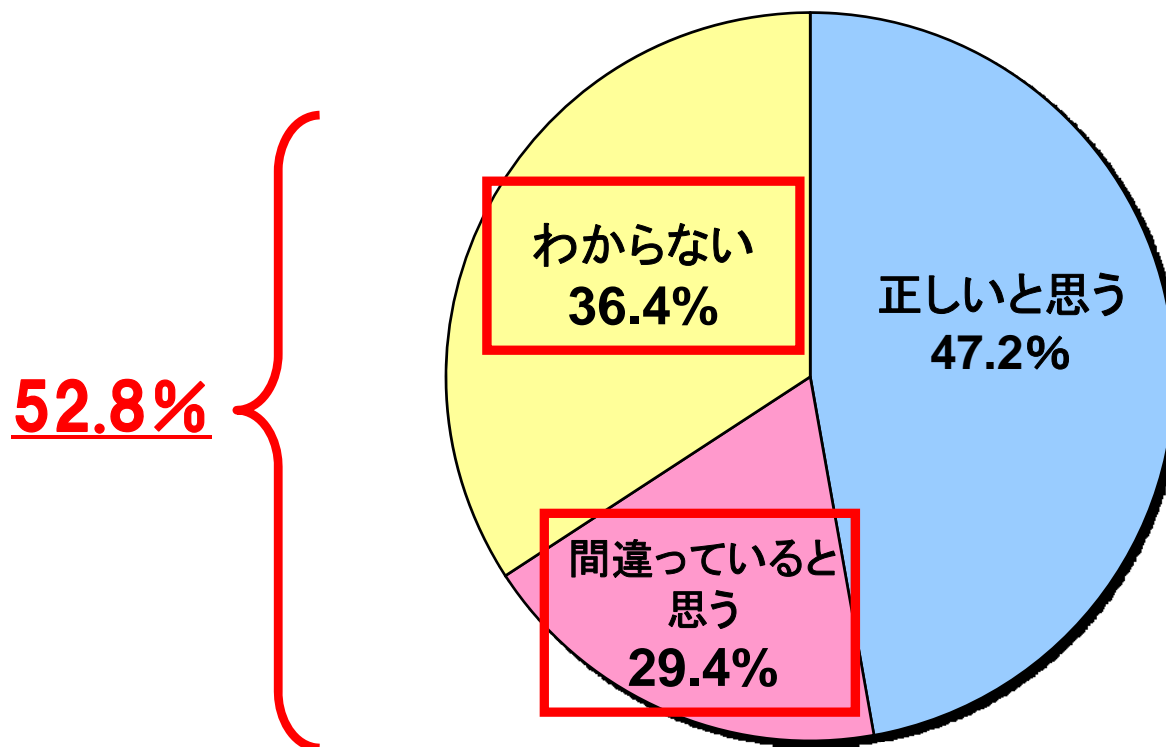


# 半数以上の母親は、 医薬品は、自然治癒力を助けるものであることを知らない

Q. 以下の質問についてあなたのお考えに最も当てはまるものを教えてください。

**【医薬品は、自然治癒力を助けるものである】**

正答: ○

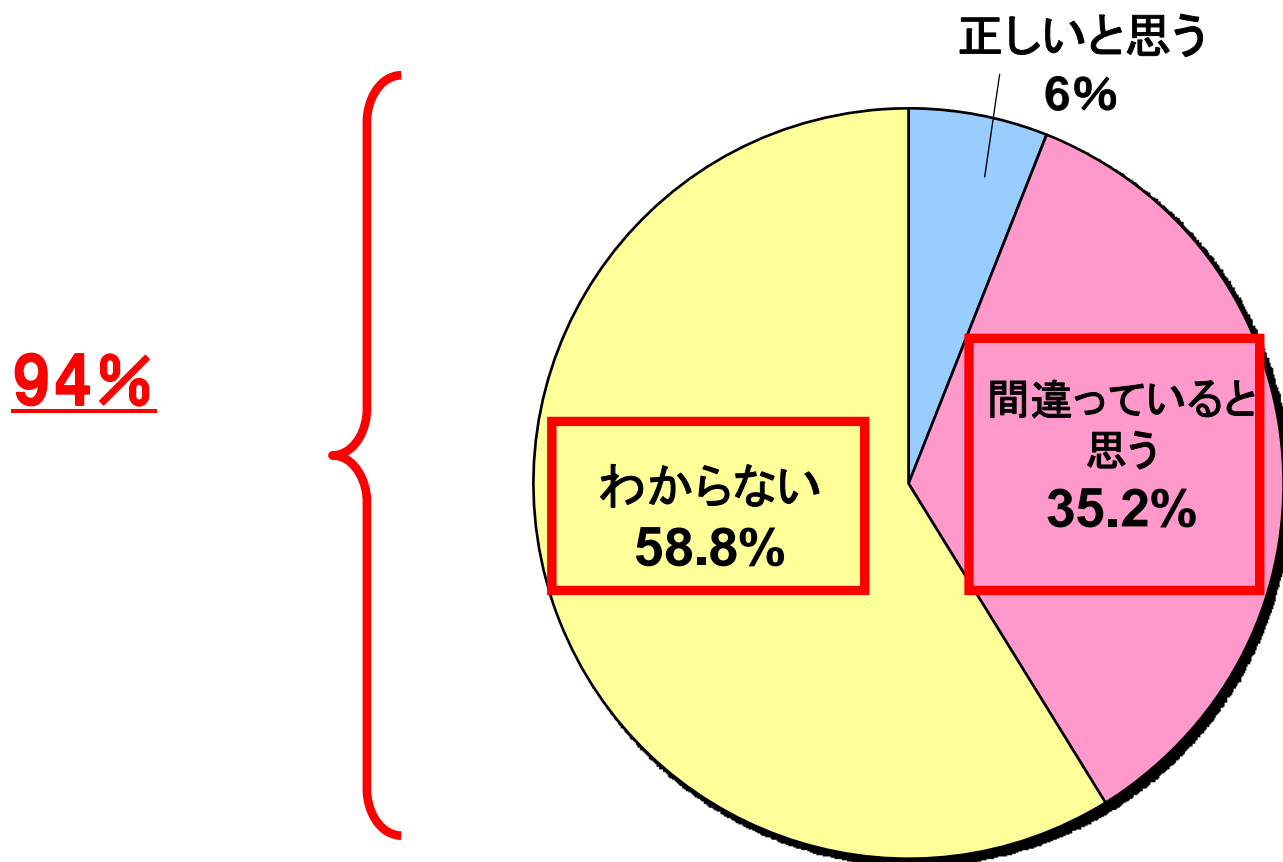


n=500

# 約9割の母親は、薬の正しい使い方に関する教育が、 中学校の義務教育で行われている事を知らない

Q. 以下の質問についてあなたのお考えに最も当てはまるものを教えてください。  
【薬の正しい使い方の教育は、中学校の義務教育で行われている】

正答: ○



n=500



## 調査結果の総括-1

### ① 中学生の母親の、「くすりの適正使用」に対する意識が低く、その重要性は子どもにも伝えられていない

⇒約7割の母親が、普段から、服用する薬の説明書を子ども自身に読ませていない  
(スライド4より)

### ② 中学生の家庭において両親の管理のもと「くすりの適正使用」が十分に行われていない実態がある

⇒家庭内での子どもの医薬品の適正使用に関して質問をしたところ

- 期限切れの薬を、子どもにのませたことがある親:16.2%
- 親に処方された薬を、量を加減してのませたことがある親:33.8%
- 薬の量を親の判断で増減させたことがある親:38%
- 兄弟に処方された薬を、似た症状の際にのませたことがある親:42.6%
- 以前処方され、のみきらなかった薬をのませたことがある親:65.6%

(スライド5～9より)

### ③ 中学生の母親の、医薬品や「くすりの適正使用」に関する知識が、十分とはいえない

⇒中学生の母親に「くすりの適正使用」に関する知識に関して質問をしたところ

- 健康食品やサプリメントが医薬品ではないことを知らない親:41.6%
- 「ジェネリック医薬品」と「OTC医薬品」が異なることを知らない親:85%
- 医療用医薬品は自分の判断でやめてはいけないことを知らない親:27.6%
- 医薬品は、自然治癒力を助けるものであることを知らない親:52.8%

(スライド11～14より)

### ④ 中学生が「くすりの適正使用」について学校で教育を受けていることについて、認知が十分ではない

⇒中学校で薬の正しい使い方の教育(くすり教育)が行われていることを知らない母親は、94%

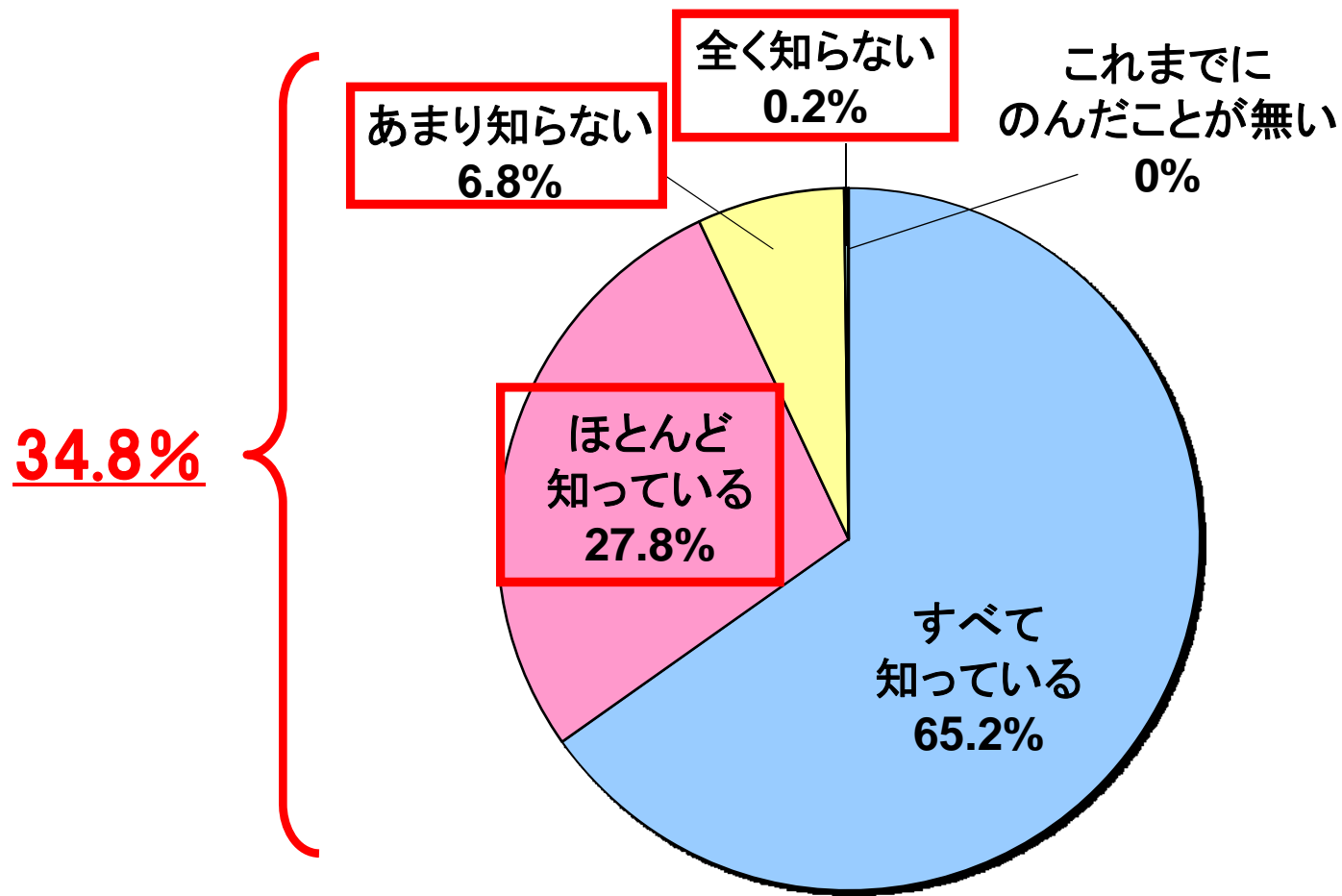
(スライド14より)

# 参考資料

(本調査におけるその他の結果)

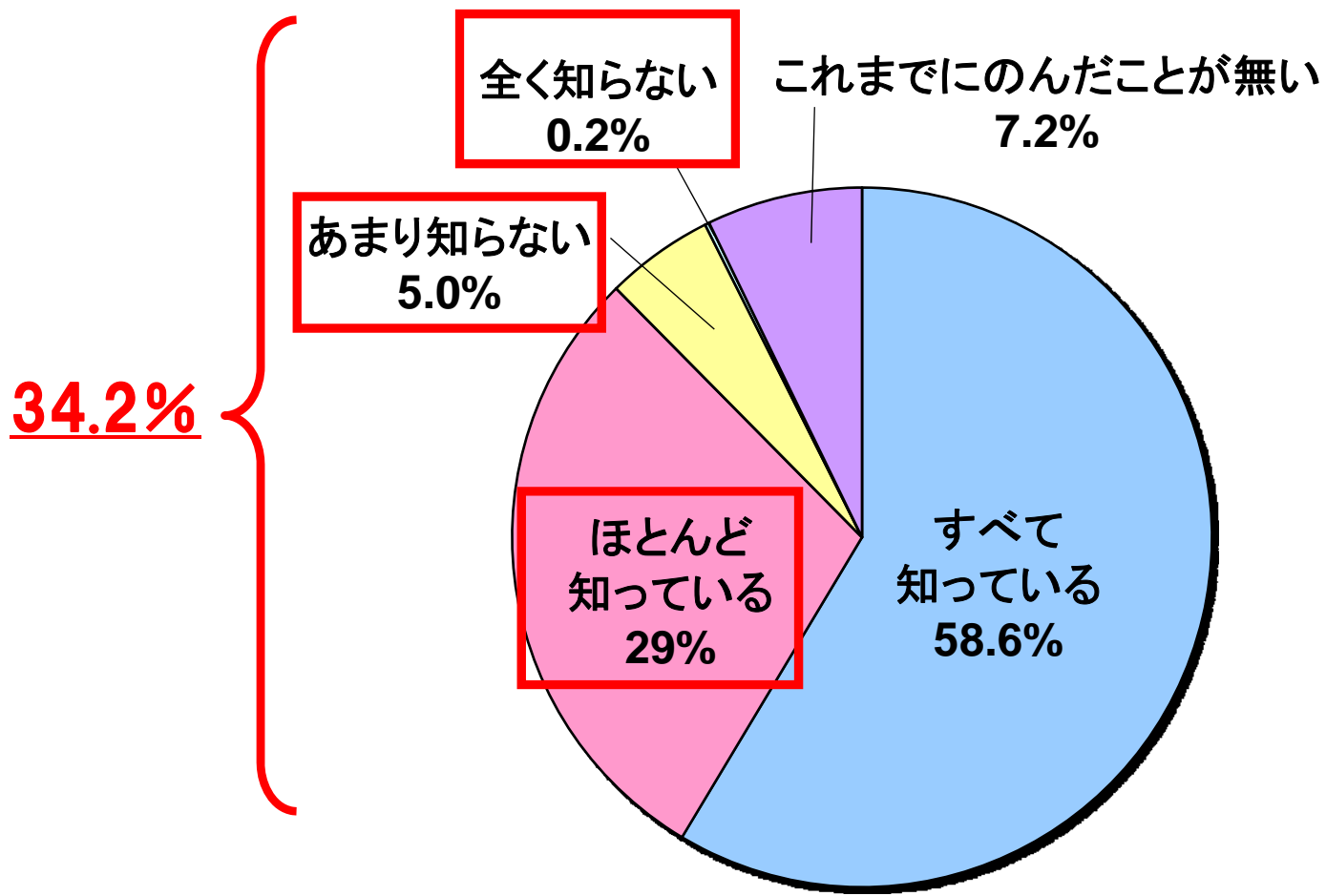
# 3人に1人の母親は、子どもが病院または調剤薬局で処方された薬をすべては把握できていない

Q. あなたの中学生のお子さんのがのむ(のんでいる)薬(病院・調剤薬局でもらった薬)に関して、何のために、いつもらってきた(購入してきた)薬か、知っていますか。



# 3人に1人の母親は、子どもが薬局・ドラッグストアで 購入した薬をすべては把握できていない

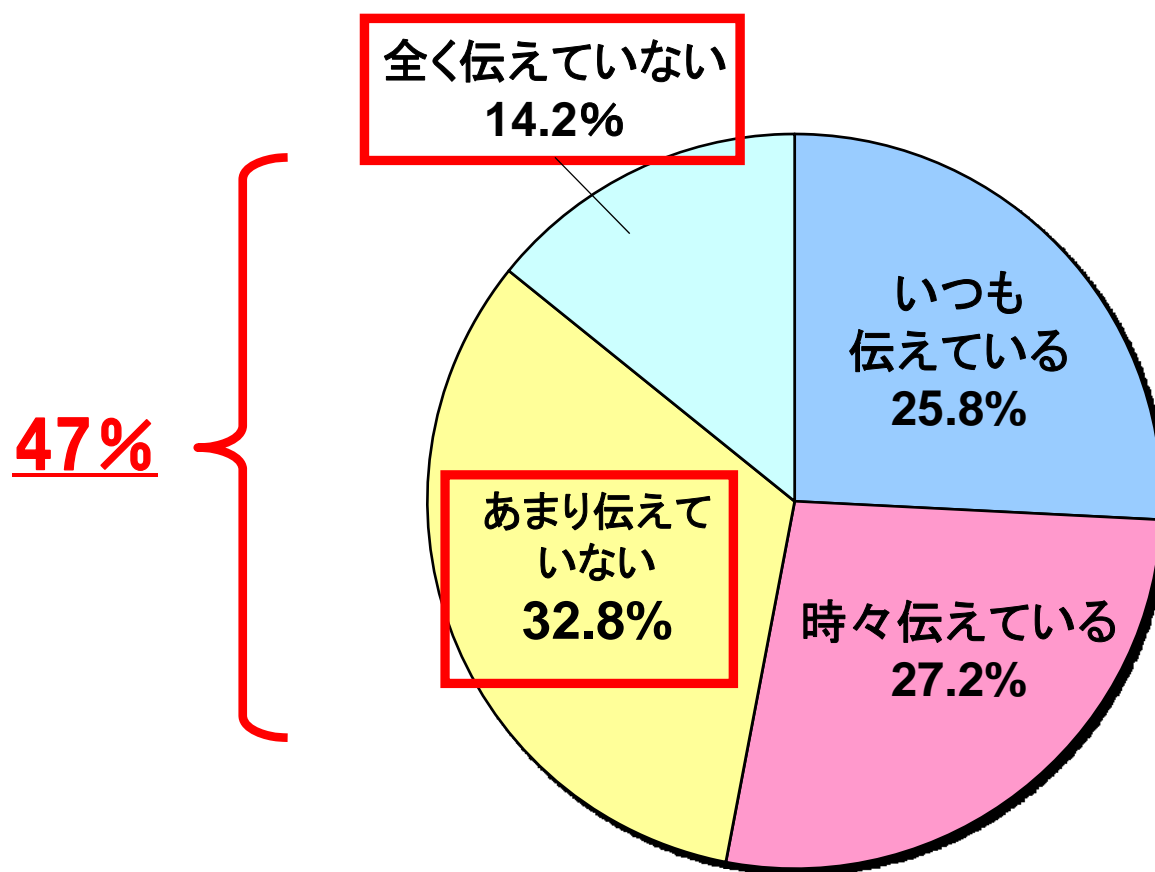
Q. あなたの中学生のお子さんへのむ(のんでのいる)薬(薬局・ドラッグストアで購入した薬)に関して、何のために、いつもらってきた(購入してきた)薬か、知っていますか。



# 約半数の母親が、子どもが薬を使用する際に、 その薬の副作用の可能性について、普段から伝えていない

Q. あなたの中学生のお子様<sup>が</sup>薬を使用する際の、あなたとお子様とのコミュニケーションの状況について以下の内容に対して、最も当てはまるものを教えてください。

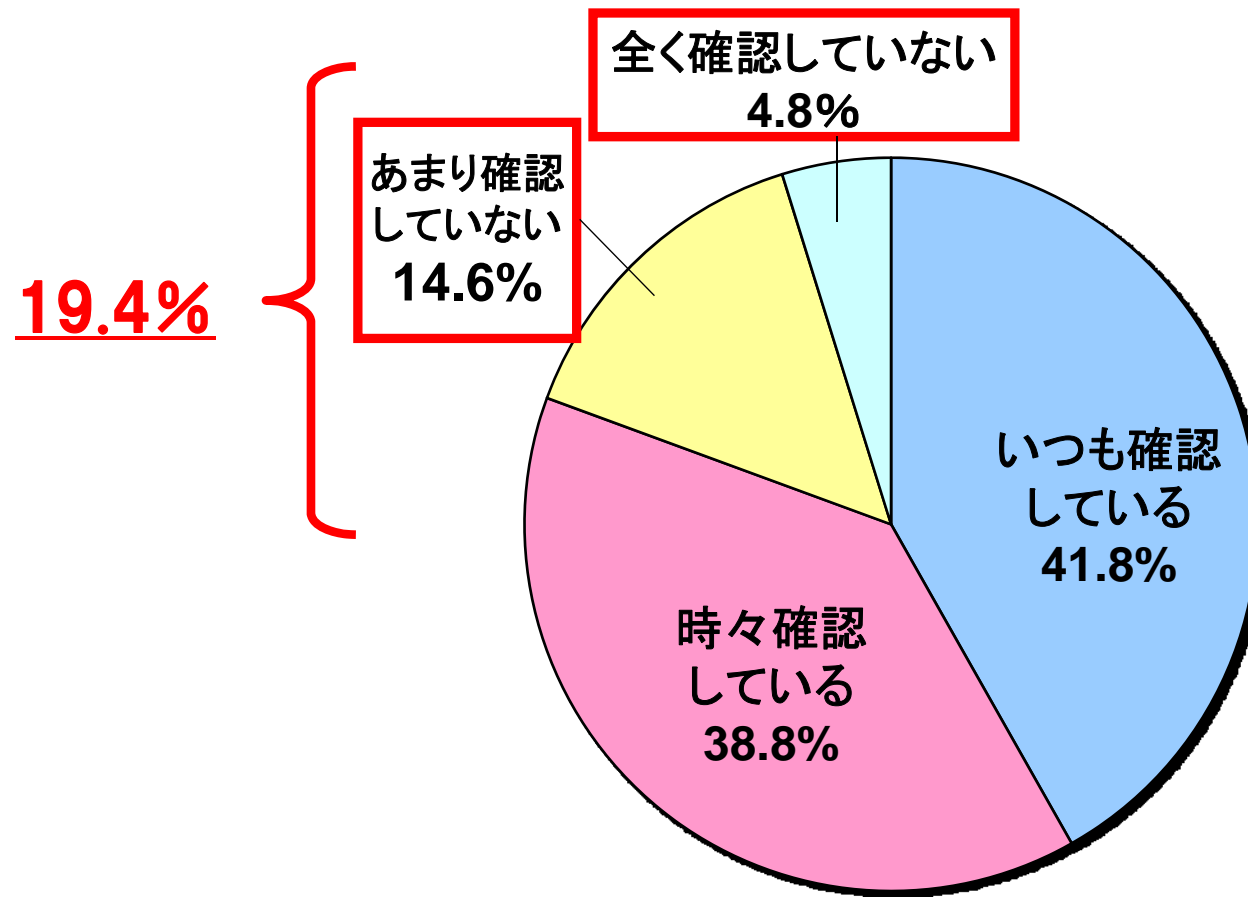
**【子どもが薬を使用する際に、その薬を使用した際の、副作用について伝えている】**



n=500

# 5人に1人の母親が、普段、子どもが薬を使用する際に、 そばで確認をしていない

Q. あなたの中学生のお子様<sup>が</sup>薬を使用する際の、あなたとお子様とのコミュニケーションの状況について以下の内容に対して、最も当てはまるものを教えてください。  
【子どもが薬を使用する際は、そばで確認するようにしている】

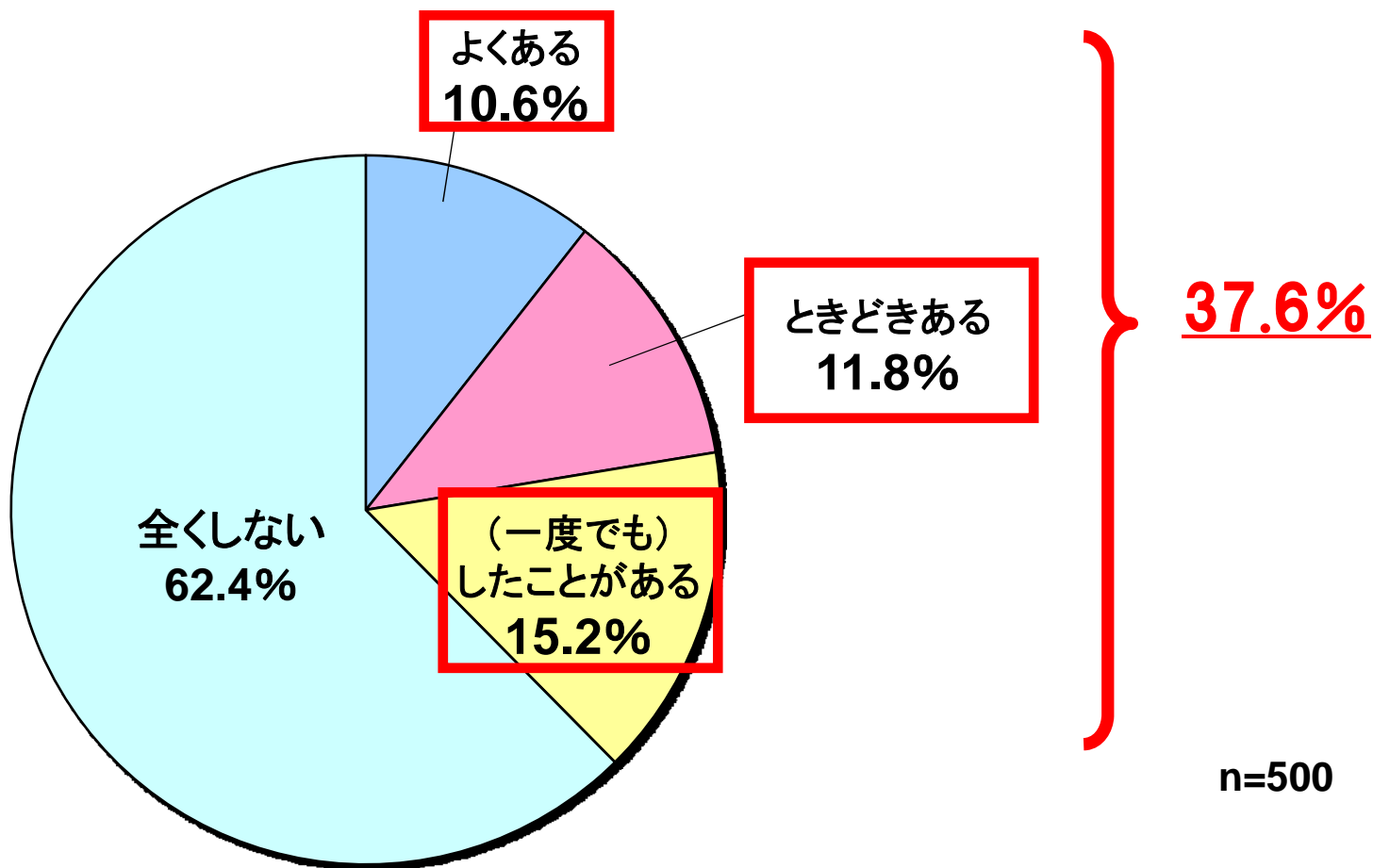


n=500

# 3人に1人の母親は、 使用期限切れの薬を自分自身でのんだことがある

Q. あなたの中学生のお子様が発薬を使用する際の、あなたとお子様とのコミュニケーションの状況について以下の内容に対して、最も当てはまるものを教えてください。

**【期限切れの薬を自分がのんだことがある】**





# 約4割の母親が、子どもが具合が悪くなったとき、薬をのむかどうかの判断を子ども自身に任せたことがある

Q. あなたの中学生のお子様<sup>が</sup>薬を使用する際の、あなたとお子様とのコミュニケーションの状況について以下の内容に対して、最も当てはまるものを教えてください。

**【中学生の子ども<sup>の</sup>具合が悪くなったとき、薬をのむかどうかの判断は子ども自身に任せている】**

